

《担当者名》 井上貴翔（看） 山田桃子（リハ）

【概要】

本講義では、大学生活を送る上で必要となる日本語表現力や社会人として求められる基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。講義を通じて、まずは大学生として必要な、公的な日本語表現、メールの書き方などについて学んだうえで、自分の考えを適切に表現し、他者にわかりやすく伝える力（論理的思考力、文章校正力、論述力など）についても学んでいく。以上を総合し、レポートの基本的な書き方を身につける。

【学修目標】

1. 医療に関わる人間にとって必要不可欠となる日本語の基礎的な能力を身につける
 - 1-a. TP0に応じた適切な日本語（文体や書き言葉など）を使用する
2. 大学生として必要不可欠になるコミュニケーション能力、特に言語表現の能力を身につける
 - 2-a. 他者の考えを適切に紹介する
 - 2-b. 自身の主張や考えを論理的に表現する
3. レポートや論文の基本的な作成手順を身につける
 - 3-a. 自身の主張や考えを、他者にわかりやすく伝えるよう準備・工夫し、表現する

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス / 講義目的と履修上の注意 / 日本語表現の基本	講義の進め方、到達目標、評価方法について、概説できる 日本語表現の基本について、説明できる	井上貴翔 山田桃子
2	論証	論証とは何かについて、そしてその基本的なポイントについて、説明できる	井上貴翔 山田桃子
3	レポートの基本と作成手順	レポートの基本とそれを踏まえた作成手順について、説明できる	井上貴翔 山田桃子
4	レポートの構成	レポートの基本的な構成について、説明できる	井上貴翔 山田桃子
5	情報の種類と特徴	情報の種類や特徴について、説明できる	井上貴翔 山田桃子
6	引用のルール / 出典の示し方	引用のルールや出典の示し方について、説明できる	井上貴翔 山田桃子
7	レポートにおけるルーブリック評価	レポートにおけるルーブリック評価について、説明できる	井上貴翔 山田桃子
8	総まとめ	期末レポート作成に向けて、復習を兼ねた講義の総まとめについて、説明できる	井上貴翔 山田桃子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末レポートによる学習到達度70%、講義で課した課題による学習到達度30%

【教科書】

毎回、授業時に配布するプリントを用いる。

【参考書】

必要に応じ、講義内で適宜紹介する。

【備考】

Google formを利用して学習課題を提示する。

【学修の準備】

次回講義までの課題を行うこと（予習：80分）

毎回の内容および返却された課題について、必ず目を通し復習しておくこと（復習：80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP1）生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

（DP3）保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。

（DP5）多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。